

校長あいさつ

校長 赤嶺 信一

具志川高等学校ホームページをご覧ください、ありがとうございます。

令和5年度より、校長に就任しております赤嶺信一（あかみね のぶかず）と申します。

本校は、昭和58年の創立以来、地域の皆様に支えられながら中部地区の名門校としての存在感を示し、県内外の各分野でリーダーとして活躍する人材を数多く輩出してきました。「文武両道の進学校」としてバランスの良い教育活動を行い、これまで多くの運動部、文化部が県大会上位入賞し、九州大会・全国大会出場を果たし活躍しております。また、令和6年3月卒業生（39期生）のうち、国公立大学への進学者が69名と過去最高の人数を更新するなど進学実績も年々向上しております。

教育目標として、人間性豊かで、優れた知性、逞しい心身を備えた新しい時代に対応できる創造性・国際性に富む人間の育成を目指しており、令和4年度に40周年の節目を迎えてさらなる飛躍を決意し、「自律」「創造」「挑戦（チャレンジ）」の校訓を掲げて新たな一步を踏み出したところであります。「自律」とは「人権を尊重し、豊かな感性と自律の精神を持った生徒」、「創造」とは「知性と創造力を持ち、国際性豊かで新しい時代に対応できる生徒」、「挑戦（チャレンジ）」とは「自らの可能性を信じ、果敢に挑戦し、計画的に行動する生徒」を示しています。これは、世界的な教育改革「OECD Education 2030 プロジェクト」で策定されているラーニング・コンパスの中核的概念である生徒エージェンシー（変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力）に通じるものがあります。また、この概念は、実施されて3年目となる学習指導要領にも大きく反映されており、目指す資質・能力の3つの柱である『生きて働く「知識及び技能」の習得』、『未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成』、『学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養』につながっています。さらに、国の新たな「教育振興基本計画」（令和5年6月）においては、めまぐるしく変化する社会で、一人一人が持続可能な社会の担い手になること、そして、社会全体のウェルビーイング（幸せ）の向上を目指すことが示されました。

このように本校の教育目標及び校訓は、これからの時代における学びの在り方の潮流をとらえ、生徒たちが予測困難な時代を生き抜き、個人及び社会全体のウェルビーイング（幸せ）を達成するために必要な資質・能力を育んでほしい願いが込められております。生徒主体の学びを推進するとともに、目標に向かって生徒が邁進できるように教師、保護者、地域社会が互いに連携・協働しながら支え合う環境を整えていきたいと思っております。今後とも、本校教育活動への皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年4月 吉日

